



発行日平成 23 年 10 月吉日  
上尾の活性化を考える会

上尾市議会議員 池野 耕司  
上尾市浅間台 4-17-15  
TEL: 048-775-8259  
FAX: 048-773-6357

# こうじレポート No46

## 陸前高田市への支援活動について (第 3 回目)

1. 上尾市の被災地復興支援事業の一環として 9 月 28 日～30 日にかけて陸前高田市へボランティア活動に行ってきました。全国からボランティア団体 14 団体 500 人が参加しておりました。各団体が依頼者の家、庭、田畑の草刈りやガレキの撤去等の支援活動を行いました。私は 3 回目の参加になります。



陸前高田市役所前 (庁舎が壊滅)



ボランティアセンター掲示板 (ガレキ、草刈の依頼多し)



今も水が引かない情景 (地盤沈下した田)



依頼者の庭の草刈り

### 感想

1. 今回は陸前高田市小友町鳥島に住む被災者宅の庭の草刈り、ガレキ等の撤去作業を行いました。依頼者の方は、津波で家族・家も流され今は、避難所暮らしをされておられます。厳しい状況の中で明るく前を向いて生きようとされている事が、ひしひしと感じられました。また、依頼者はチリ地震 (1960 年) でも家を失い、今回の津波で再度流されたと言っておられました。依頼者の苦しい、厳しい環境で生活している状況、気持ちを感じ、早く落ち着いた日常生活になるよう願わずにおられません。
2. ガレキの山からメタンガスが発生し、煙を発生している状況が以前 (7 月末) より進んでいました。
3. 田畑は、地盤沈下して排水されない、草が繁茂している。海砂や一般廃棄物等が今も多く飛散し農作物の作れる状況ではないと思いました。河川も変形している箇所も多く見られ、まだまだ、多くの人的、物的、資金的支援が必要で、復興にはまだ時間を要すると思いました。
4. 「津波てんでんこ」(三陸海岸の地方に伝わる津波防災伝承) を実践した人、実践しなかった人の状況を現地で聞くことが出来ました。ある人は高齢者をおぶって逃げていましたが、逃げ切れなかったと思い、その場で「おばあちゃん ごめん」と言って高齢者を置き去りにし自分 1 人だけでもと思い高台へ逃げ助かった人。一方、高齢者が家にいる為、助けようと思い家に向かい、結果的に命を落とした人。あるいは集団避難のルールが逃げ遅れの原因となり、津波に巻き込まれ犠牲になるケースもあったと伺いました。

★支援活動に参加して「上尾市としても継続的支援の必要性を強く感じました。」以上ご報告申し上げます。

ご意見・ご要望お待ちしております。